HTMLとは

# なぜにHTMLを学ぶのか？

ズバリ、Webサイトを作成には必須のものになります。

これを理解しないとサイト作成ができません。

# HTMLってなに？

HTMLとは(HyperTextMarkupLanguage)ハイパーテキスト・マークアップ・ランゲージと呼ばれるます。

Webページを作るための最も基本的な言語です。

webページを裏側を見てよう。

どのページでもいいけど、ページのソースを見てみる！(ブラウザによって表示方法が違うので)

並んでいる文字がソースコードといいます。

このように、WebページはHTMLタグを使って構成されています。

これを読み込みブラウザで表示しているだけです。

# htmlファイルを作る方法は？

htmlファイルの作り方ですが、テキストエディタなどでhtmlタグを書き「.html」という拡張子をつけることで、htmlファイルであることをコンピュータが認識してくれます。(例 index.html)

## リンクを表示する

リンクを作成したい場合は、他のページに飛ばす場合に、リンクタグ<a>タグを使います。

<a href=”http://google.com”>googleへのリンク</a>

## 画像を表示する

画像を表示させるためには、<img>タグを使用します。

<img src=”画像パス” />

## 段落分けを行う

段落を分けるには<p>タグを使用します。

<p>段落の内容</p>

## HTMLの基本の構造

<!doctype html>

<html>

<head>

<meta charset="UTF-8">

<title>タイトル</title>

</head>

<body>

<h1>見出し1</h1>

<p>段落１</p>

</body>

</html>

## HTMLの基本の記述方法

実際にWebページに反映されるのは< body >の中なので、< body > ~ </body >の間に記述します。

タグ HTMLでは基本的にこのタグ<>で文字列を囲んで記述します。

開始タグ<>と終了タグ</>で囲う、そのひとつのかたまりを要素と呼びます。

※タグには全角文字を使うことはできませんので注意します。